

令和 2 年度 牛久市社会福祉協議会 事業報告書

実施事業名	実施内容	実績成果等
I.その人らしい生き方を支援する。		
1. 人が出会い、ふれあえる場の提供 家族や地域の絆を深め、お互いが理解し合い、支え合える場を作り、かけがえのない人の輪を広げる		
(1) 家族や地域をつなげる環境の整備		
① 合同金婚式 ② 介護者リフレッシュ事業 ③ 介護サロンぬくもり	○牛久市合同金婚式の開催 ・11/9～11/13 市役所分庁舎 ・対象者 81 組、参加者 60 組 ・記念撮影及び記念品贈呈 ○介護者の集い ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ○介護サロンぬくもりの協働実施 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、9/7, 10/9, 11/4, 3/9 のみ実施 市保健センター集団検診室 ・参加者延べ 45 名 ・介護の悩みの共有・介護相談等	・新型コロナウイルス感染症の影響により、式典は見送り記念撮影のみ実施した。密を避けるために期間を 1 週間とり、分散して対応し、参加者に大変喜ばれた。 ・市高齢福祉課と協議の結果、参加者の安全を考慮し中止とした。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、会場を変更し感染防止対策を徹底することで、4 回実施することができた。自粛が続く中、この機会に参加者同士交流することでリフレッシュにつながった。
2. 自分自身の表現する場と社会貢献につなげる場の提供 その人らしい生きがいをづくりを支援し、地域において個々の力が発揮できるきっかけをつくる		
(1) 生きがいをづくりの支援		
① 盛人の集い ② 高齢者いきがい活動	○盛人の集いの開催 ・11/7 市中央生涯学習センター文化ホール ・参加者 52 名、申込み 75 名、対象者 970 名 ・式典・記念講演 講師：小倉洋子氏（元 NHK アナウンサー） 演題「人生 100 年時代～大人の自由な過ごし方～」 ○健康体操教室 ・毎月第 2・4 月曜日、申込み 103 名 ○太極拳教室 ・毎月第 2・4 金曜日、申込み 71 名 ○フォークダンス教室 ・毎月第 2・3・4 木曜日、申込み 51 名 ＊上記教室について、参加者は募ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ○初心者向け男性料理教室 ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止	・新型コロナウイルス感染症の影響により、内容及び会場を変更し、感染防止対策を徹底して実施した。参加者からは、記念講演を聞き今後の人生を考える良い機会になったという声が聞かれた。 ・市高齢福祉課と協議の結果、参加者の安全を考慮し中止とした。
(2) 自分の力を地域に活かすきっかけづくり		
① 地区社協リーダー	○ふれあい便交流会の開催	・新型コロナウイルス感染症拡大

実施事業名	実施内容	実績成果等
研修 ②一家にひとり地域ヘルパー養成研修	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により開催は中止し、牛久市買物支援・支えあいのまちづくり推進協議会メンバーに実績資料の配布のみ行った ○地域ヘルパー養成研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・開講期間 3/10～3/24 のうちの 4 日間 地域医療連携センター ・修了者 12 名 	に伴い、交流会の開催は中止し資料配布のみ行った。移動店舗ふれあい便は、1 日あたりの平均客単価及び平均利用客数ともに、令和元年度に比べ増加傾向であった。 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた日程や内容を変更し、感染防止対策を徹底して実施することができた。

II.地域住民の生活課題を解決する。

1. 総合相談・総合支援の充実

各関係機関・団体等との連携強化を図り、住民の生活課題を早期発見・解決に結びつける仕組みを構築する

(1) 総合相談窓口の整備と各種相談機関との連携

①総合相談「あんしんホットライン」の運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○専用フリーダイヤル <ul style="list-style-type: none"> ・常時開設 相談件数 224 件 ○専門相談の設置 相談件数 96 件 <ul style="list-style-type: none"> 【心配ごと相談】第 1～4 週金曜日 ・主な相談内容は相続、離婚等 【高齢者に関する相談】随時 ・家族介護や認知症についての相談 ○広報啓発活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・各種総合相談チラシ配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・あんしんホットラインは、市民の身近な相談窓口として、財産管理や相続など様々な相談が寄せられ、相談内容に応じて専門機関等へつないだ。 ・心配ごと相談は、相続や離婚、近隣トラブルに関する相談が多かった。
-----------------------	---	---

2. 福祉サービス利用支援の充実

住民の立場に立った福祉サービス利用の援助や、日常生活における課題に対する支援を行う

(1) 要介護高齢者への支援の充実

①地域包括支援センター事業	<ul style="list-style-type: none"> ○総合相談支援業務・権利擁護業務 <ul style="list-style-type: none"> ・新規相談件数 890 件 <ul style="list-style-type: none"> うち高齢者あんしん電話 87 件 ・延べ対応件数 5,812 件 ○包括的・継続的ケアマネジメント業務 <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員連絡協議会開催 2 回 会員数 137 名 ・事例検討会 13 事業所参加 ・訪問看護事業所情報交換会実施 4 回 ・グループホーム運営推進会議 22 回 (※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面会議での代替実施。) ○介護予防ケアマネジメント業務 <ul style="list-style-type: none"> ・指定介護予防支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ケアプラン作成件数 2,170 件 予防給付収入 10,385,392 円 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等からの相談について訪問や電話にて対応し、援助の必要な方に適切な支援につなげることができた。 ・4 月に新たに開設された地域包括支援センター博慈園と連携を図りながら、高齢者等への支援を展開できた。年々増加する高齢者の相談に対応できるようにより一層連携体制をとっていく必要がある。 ・オンラインにて事例検討会を開催し、13 事業所の参加があった。主催者、参加者共に慣れない中での開催であったが、共通の課題についての検討を行うことができた。
---------------	---	--

実施事業名	実施内容	実績成果等
<p>②地域ケア個別会議事業</p> <p>③認知症初期集中支援事業</p> <p>④見守り台帳整備事業</p>	<p>・介護予防・日常生活支援総合事業 ケアマネジメント実施件数 2,489件 総合事業収入 11,074,280円</p> <p>○訪問調査事業 認定調査件数 27件 認定調査収入 103,950円</p> <p>・開催回数 3回（6月開催分コロナ感染予防のため中止） ・検討事例数 6事例</p> <p>・対応件数 6件 ・チーム員会議 延べ5回 ・訪問回数 延べ36回 「未受診の認知症が疑われる高齢者への支援」 「介護保険サービス未利用の認知症高齢者への支援」</p> <p>登録人数 67行政区（準行政区含）4,130名（65才以上高齢者の16.7%）うち、高齢者世帯数 692世帯、独居高齢者世帯数 1,433名</p>	<p>・多職種が専門的視点から検討することで、自立支援、重度化防止のための介護支援専門員のケアマネジメント支援を行うことができた。</p> <p>・専門病院に繋がり、家族の協力のもと、定期的な受診を継続することができている。</p> <p>・介護保険サービスに繋がりにくかったケースでは、なぜサービスに繋がらないのか家族と共に考え、サービス導入につなげることができた。</p> <p>・要援護対象者の初動対応時における基本情報の確認や、地域支援者等と連携してその後の見守り支援に活用することができた。</p>

(2) 障がい者への支援の充実

<p>①障害者相談支援事業</p>	<p>●一般相談</p> <p>○利用者数 障害児 63名 障害者 218名</p> <p>○相談件数 4,303件(児413件・者3,890件) 身体障害 730件(児20件・者710件) 重症心身障害 139件(児54件・者85件) 知的障害 790件(児195件・者595件) 精神障害 2,275件(児6件・者2,269件) 発達障害 221件(児135件・者86件) 高次脳機能障害 102件(児0件・者102件) 難病 3件(児0件・者3件) その他 43件(児3件・者40件)</p> <p>○支援方法 訪問相談 399件 来所相談 187件 同行 66件</p>	<p>・相談件数が昨年度から約240件増えた。</p> <p>・関係機関や学校と個別のケースを通して、より連携が図れるようになった。</p> <p>・医療機関・施設から退院・退所に向けての相談も増えた。様々な機関と連携することで、スムーズに在宅や施設での生活に移行することができた。</p> <p>・電話相談では、生活に不安を抱える相談が多く、傾聴や助言により、不安解消の一助となった。</p>
-------------------	---	---

実施事業名	実施内容	実績成果等
	<p>電話相談 2,500 件 電子メール FAX 55 件 個別支援会議 65 件 関係機関 997 件 その他 34 件 ・市受託金収入 25,222,242 円</p> <p>●特定指定相談</p> <p>○利用実績</p> <p>契約件数 360 件(児 127 件・者 233 件)</p> <p>身体障害 59 件(児 9 件・者 50 件)</p> <p>重症心身障害 14 件(児 11 件・者 3 件)</p> <p>知的障害 158 件(児 61 件・者 97 件)</p> <p>精神障害 56 件(児 0 件・者 56 件)</p> <p>発達障害 61 件(児 45 件・者 16 件)</p> <p>高次脳機能障害 8 件(児 0 件・者 8 件)</p> <p>難病等 4 件(児 1 件・者 3 件)</p> <p>・計画案作成件数 372 件 ・モニタリング件数 525 件 ・自立支援費収入 13,286,798 円</p>	<p>・新規契約件数は 46 件、一般就労への移行や転居、死亡等による解約件数が 15 件で、昨年度と比べ 31 件増加した。</p> <p>・相談支援専門員が約 80 名の利用者を担当しているが、様々な生活課題に対して細やかな支援を行うことが出来た。</p>
(3) 社会的援護を必要とする人の権利擁護		
<p>①福祉サービス利用 援助事業</p> <p>②成年後見サポート センター事業</p>	<p>○相談件数 1,811 件</p> <p>認知症高齢者 760 件 知的障害者 229 件 精神障害者 816 件 その他 6 件</p> <p>○契約件数 32 件</p> <p>認知症高齢者 19 件 知的障害者 5 件 精神障害者 8 件</p> <p>○新規契約件数 8 件 ○解約件数 7 件 ○生活支援員 13 名</p> <p>○相談支援 168 件</p> <p>・初回相談 68 件【高 46、知 4、精 7、他 11】 ・継続相談 100 件【高 69、知 23、精 6、他 2】</p> <p>○法人後見業務 後見 4、保佐 1、補助 0</p> <p>○法人後見監督業務 1 件（市民後見人）</p> <p>○広報啓発活動 社協広報紙掲載、パンフレット・チラシ配布、講演会 2 回、出前講座 1 回</p> <p>○支援員養成事業</p>	<p>・通常活動のほか、他機関との連携や利用者からの相談に対応しており、知的障害者や精神障害者の相談対応が、令和元年度に比べて大幅に増加した。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現任生活支援員対象のフォローアップ研修は、参考資料や活動物品等を配布し、個別対応とした。</p>

実施事業名	実施内容	実績成果等
<p>③ 成年後見制度利用促進に伴う中核機関委託事業</p>	<p>フォローアップ研修 13名 生活支援活動の参考資料の配布</p> <p>○運営委員会 5/26、11/26</p> <p>○後見受任審査会 4/14</p> <p>○地域連携ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛久市成年後見地域連携協議会委員 17名 ・牛久市成年後見地域連携協議会 5月 中止 10/15 15名参加 <p>○広報機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関及び福祉関係者向け成年後見制度講演会 中止 ・市社会福祉協議会広報誌掲載 6/1号 ・一次相談事業所紹介チラシ配布 事業所 60ヶ所 金融機関 18ヶ所 ・市民向け成年後見研修会 3回 計 13名 <p>○相談機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 487件 ・チーム形成 11チーム ・チーム支援会議 20回 ・チーム支援対応 110回 ・一次相談事業所連絡会 中止 ・一次相談事業所との勉強会 地域包括支援センター 15回 障害者相談支援事業所エール 4回 ・一次相談事業所、福祉事務所を対象とした研修会 中止 <p>○成年後見制度利用促進機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人等候補者調整会議 7/27 2件 ・市民後見人養成研修修了者向けのフォローアップ研修 中止 <p>○後見人支援機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見選任後の相談 11件 ・親族後見人向け後見活動勉強会 中止 <p>○不正防止効果の取り組みに向けた検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業に不正防止効果の視点を反映できるよう、担当課と打ち合わせを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護支援のための地域連携ネットワーク構築を目的に、関係機関を集めた協議会を設置し、顔の見える関係性をつくることのできた。 ・一般市民や福祉関係者など、幅広い周知活動を実施することができた。 ・一次相談事業所からの相談に対応するとともに、チーム支援のための体制も整備することができた。 ・一次相談事業所からの相談に対応するとともに、チーム支援会議を開催し、チーム支援の機能を強化することができた。 ・関係機関と連携し、成年後見人等候補者調整のための体制整備を図ることができた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、市高齢福祉課と協議の結果、中止した事業が多数となった。
(4) 課題解決のための情報提供及び支援		
<p>① 生活福祉資金貸付事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 1,431件 ・生活福祉資金特例貸付 600件 緊急小口特例 393件 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス特例貸付の相談及び申請の対応を行った。貸付対応に留まらず、相談者の状況

実施事業名	実施内容	実績成果等
<p>②小口資金貸付事業</p> <p>③歳末たすけ合い配分事業</p> <p>④自立相談支援事業</p>	<p>総合支援資金 162 件</p> <p>総合支援資金延長 17 件</p> <p>総合支援資金再貸付 28 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉資金緊急小口 2 件 ・相談件数 3 件 ・貸付件数 0 件 ・償還件数 3 件 <p>○在宅援護対象見舞金配布事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：136 世帯×13,000 円 <p>○一人暮らし高齢者ふれあい訪問事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 75 歳以上一人暮らし高齢者 1,526 名 ・配布数 1,477 名 <p>○生活困窮者の相談支援 1,011 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援計画（プラン）作成 46 件 ・制度等の情報提供 329 件 ・他機関へのつなぎ 636 件（うち生活福祉資金特例貸付 600 件） <p>○支援調整会議の実施（4/15、5/18、6/17、7/10、8/12、9/11、10/9、11/11、12/11、1/20、2/18、3/16）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援計画及び支援終結の承認 <p>○就労準備支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 4 名（相談支援 85 回） ・就労準備支援カフェの実施 3/10 3 名 <p>○家計改善支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 4 名（プラン作成 6 件、支援回数 43 回） <p>○関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所 152 件（社会福祉課 129 件、子ども家庭課 7 件、医療年金課 6 件、健康づくり推進課 4 件、建築住宅課 3 件、税務課 2 件、保育課 1 件） ・ハローワーク 39 件 ・障害者相談事業所 5 件 ・地域包括支援センター 8 件 ・法テラス 13 件 ・茨城県ひきこもり支援センター 21 件 	<p>に応じて自立相談支援事業につながり、就労支援や家計相談を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慢性的な生活費不足で、小口貸付を希望された方には、生活保護等の情報提供を行い、緊急性がある場合は、食糧支援を行った。 ・令和 2 年度より自己申請方式に変更し、申請基準を明確化して経済的に援護を必要としている方への支援を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響からか、身体状況低下等の報告が多く、地域包括支援センターと連携して対応した。 ・新型コロナウイルス特例貸付の相談が多くを占める中で、不安定な雇用状態や生活収支の問題を抱える世帯もあり、就労支援や家計相談を行った。 ・就労準備支援事業の対象者 2 名が、一般就労や福祉的就労にそれぞれつながった。直ちに就労困難な方は、就労準備支援カフェへの参加を呼びかけ 3 名が参加した。 ・家計改善支援事業では、4 名の対象者に月々の生活収支の確認を行い、将来的に自己管理できるよう支援を行った。

実施事業名	実施内容	実績成果等
	<ul style="list-style-type: none"> ・その他団体 5 件 ・フードバンクと連携した食糧支援 33 件 (米 172.9 kg、食品 469.5 kg) ・きずな BOX (食品収集箱) への食品提供 (米 583.1 kg、食品 915.1 kg) 	

3. ニーズにあったサービスの開発と実施

生活課題の多様化・個別化に対し、関係機関等との連携を図りながら、質の高い福祉サービスを提供するとともに、新しいサービスを開発し実施する

(1) ニーズに即した介護保険事業の展開

<p>①居宅介護支援事業</p>	<p>○利用実績</p> <p>開所日数 295 日</p> <p>契約件数 218 名</p> <p>・介護保険</p> <p>実利用者数 149 名</p> <p>延利用者数 1,336 名</p> <p>介護保険収入 23,021,381 円</p> <p>・介護予防支援</p> <p>実利用者数 62 名</p> <p>延利用者数 634 名</p> <p>介護予防支援収入 2,586,892 円</p> <p>・認定調査</p> <p>認定調査件数 36 件</p> <p>認定調査収入 149,600 円</p>	<p>・前年度と比較すると要支援 1、要支援 2 の利用者の割合は横ばいだが、要介護の利用者の割合が増えており、収入増となっている。</p> <p>・認定調査は、新型コロナウイルス流行により、更新認定が簡易的手順となったため、市内の利用者の認定調査の実施が少なく、他市町村からの委託が主だった。</p>
<p>②通所介護事業</p>	<p>○利用実績</p> <p>開所日数 309 日</p> <p>契約者数 98 名</p> <p>実利用者数 98 名</p> <p>延利用者数 7,246 名</p> <p>1 日平均利用者数 23.4 名</p> <p>介護保険収入 65,327,378 円</p> <p>○行事</p> <p>夏祭り 8 月 27 日 (24 名参加)</p> <p>8 月 28 日 (24 名参加)</p> <p>8 月 29 日 (24 名参加)</p> <p>牛久大仏コスモス散策</p> <p>10 月 27 日 (29 名参加)</p> <p>10 月 29 日 (21 名参加)</p> <p>11 月 4 日 (27 名参加)</p> <p>新年会 1 月 20 日 (25 名参加)</p> <p>1 月 21 日 (23 名参加)</p> <p>1 月 22 日 (22 名参加)</p> <p>お花見 3 月 25 日 (19 名参加)</p>	<p>・新型コロナウイルス流行に伴う利用控えにより、4 月 5 月の平均利用者数は 20 名程に減少した。その後、増加に転じた後、令和 3 年 1 月 2 月に入院、入所、死亡が相次ぎ、令和 3 年 3 月末で平均 23.4 名となった。</p> <p>・理学療法士の指導による機能訓練を実施することにより、利用者自身が意欲的に運動を行い、体力や筋力の維持向上につながった。</p> <p>・新型コロナウイルス流行に伴い、行事や外出は規模を縮小もしくは実施日を分散して行うこととなったが、夏祭りや新年会、お花見等の季節感を楽しめるような行事に参加していただくことで、利用者同士の交流や表情に張りが出る等の生活意欲の向上につながった。</p>

実施事業名	実施内容	実績成果等
③訪問介護事業	<p>3月26日(24名参加) 3月27日(22名参加)</p> <p>○利用実績</p> <p>開所日数 262日</p> <p>・介護保険</p> <p>契約者数 25名 実利用者数 20名 延利用者数 1,121名 1日平均利用者数 4.2名 介護保険収入 4,318,753円</p> <p>・障害者総合支援</p> <p>契約者数 16名 実利用者数 15名 延利用者数 816名 1日平均利用者数 3.1名 自立支援収入 3,371,011円</p> <p>・移動支援</p> <p>契約者数 12名 実利用者数 8名 延利用者数 463名 一日平均利用者数 1.7名 移動支援収入 1,930,200円</p>	<p>・職員が減ったため、利用者の人数や利用回数も減少している。</p> <p>・職員体制の整備が課題だが、応募が全くない状況が続いている。</p> <p>・新型コロナウイルスによる利用控えにより、利用件数の減が見られた。</p> <p>・職員の勤務日数減により、利用者数も減となっている。(土曜日のサービス休止中)</p> <p>・障害者総合支援の利用者契約者数の割合が前年度と比較し増加しているが、職員減のため利用数は若干減少している。</p> <p>・移動支援においては、他訪問サービスと比べて一回のサービス提供時間が長いいため、対応するヘルパーの負担も大きかったが、1月よりヘルパー1名増員となり、負担軽減に繋がっている。</p>
(2) ニーズに即した障害福祉サービスの展開		
①知的障害者デイサービス事業	<p>○利用実績</p> <p>開所日数 245日 登録者数 63名 実利用者数 61名 延利用者数 12,429名 1日平均利用者数 50.7名 利用者負担金収入 2,817,461円 自立支援費収入 125,632,068円</p> <p>○就労継続支援事業B型</p> <p>・請負作業(毎日) ・パン・クッキー製造(毎日)</p> <p>○自立訓練(生活訓練)事業</p> <p>・生活訓練(集団)(毎日) ・買物訓練(年1回) ・作業訓練(毎日)</p>	<p>・契約者数は、4月に新規利用者3名増となったが、年度途中で3名がグループホーム入所や他事業所の利用に変更になったため実利用者数の増減はなかった。</p> <p>1日平均利用人数は1.2名減となった。</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、パン・クッキー活動で児童クラブのおやつ提供が中止となり収入減になった。また、その他請負作業や自動販売機の手数料収入も減少したため、収入合計970万円になった。利用者一人あたりの月額平均工賃は、前年度と比較して、18,131円から12,919</p>

実施事業名	実施内容	実績成果等
<p>②身体障害者デイサービス事業</p>	<p>○生活介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援班（毎日） ・創作班（毎日） ・PT（理学療法士）指導（毎日） ・生産活動 ・自動販売機清掃 <p>○健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体検査（月1回） ・健康診断（12月 27名実施） <p>○行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス会（12/25 55名参加） <p>○相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者面談（10/26～11/17、3/1～3/19） <p>○日中一時支援事業</p> <p>平日利用延人数 675名 土曜日利用延人数 319名 運営費補助金収入 2,974,509円 利用者負担金収入 2,817,461円</p> <p>○利用実績</p> <p>開所日数 245日 登録者数 48名 実利用者数 48名 延利用者数 3,609名 1日平均利用者数 14.7名 市受託金収入 39,587,000円</p> <p>○訓練活動</p> <p>社会生活訓練及び日常動作訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動訓練 <p>機能訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OTによる機能訓練（月8回） ・PTによる機能訓練（月8回） ・STによる言語訓練（月1回） 	<p>円となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立訓練事業においては、将来就労することを想定し、軽作業やパソコンなどの作業訓練、相談や報告など仕事をする上で必要となるコミュニケーションの訓練を行った。また、掃除などの日常生活訓練、買い物の会計などの社会生活訓練、体力や身体の機能維持のための運動を行った。 ・生活介護事業においては、理学療法士による訓練等の時間が昨年度より増え、理学療法士が作成した訓練内容をもとに生活支援員が支援を行うことで、身体機能の維持向上を今まで以上に図ることができた。生産活動の収入では自動販売機と作業を合わせた工賃支払い総額が昨年度総額 50,641円から 198,201円になった。 ・平日の平均利用者数は 2.7名。 ・土曜日の平均利用者数は 6.4名。 ・新規登録は 2名だった。新型コロナウイルス感染症による影響で利用を自粛される方が多く、1日の平均利用者数は昨年度に比べて減となった。特に 4、5月は、利用予定者数の約 4割の方が、利用を自粛していた。 ・訓練活動においては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、買物訓練及び調理訓練を見送り、代替案として移動訓練を行った。移動訓練においては、屋外移動の課題を確認し、日頃の機能訓練に活かすことができた。

実施事業名	実施内容	実績成果等																		
<p>③放課後等デイサービス事業</p> <p>④福祉タクシー利用料金助成事業</p>	<p>○生きがい活動（毎日）</p> <p>創作活動及び趣味教養活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 籐細工、陶芸、絵画、書道、パソコン等 スポーツレクリエーション（週1回） ・ クロッケー、風船バレー、フライングディスク、ペタンク、輪投げ <p>健康講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ストレッチポール、口腔ケア <p>趣味教養講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スマートフォンの基本操作（2回）、新聞エコバッグ作成（1回） <p>作品展への出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 茨城県ナイスハートフェスティバル（12月）出展 20名 <p>屋外活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お花見（3/25、3/26 32名） <p>三日月橋生涯学習センター</p> <p>相談支援</p> <p>○利用実績</p> <table border="0"> <tr> <td>開所日数</td> <td>294日</td> </tr> <tr> <td>契約者数</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>実利用者数</td> <td>23名</td> </tr> <tr> <td>延利用者数</td> <td>1,934名</td> </tr> <tr> <td>1日平均利用者数</td> <td>6.6名</td> </tr> <tr> <td>障害児通所給付費収入</td> <td>18,084,326円</td> </tr> <tr> <td>利用者負担金収入</td> <td>973,677円</td> </tr> <tr> <td>日中一時支援費収入</td> <td>880,412円</td> </tr> <tr> <td>受託事業収入（公費）措置分</td> <td>944,169円</td> </tr> </table> <p>○行事</p> <ul style="list-style-type: none"> クリスマス飾りつけ(12/19 4名参加) <p>○重度障害者福祉タクシー利用料金助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人工透析 28名 ・ その他 95名 	開所日数	294日	契約者数	28名	実利用者数	23名	延利用者数	1,934名	1日平均利用者数	6.6名	障害児通所給付費収入	18,084,326円	利用者負担金収入	973,677円	日中一時支援費収入	880,412円	受託事業収入（公費）措置分	944,169円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機能訓練においては、専門家（OT・PT・ST）の指導により、自主トレの計画・実施・評価を継続的に実施し、生活指導員が個々の生活課題に合わせて、個別訓練やグループでの訓練を行う事で、モチベーションを維持しつつ、機能の維持向上に繋げることができた。 ・ 陶芸や籐細工等では、上肢や手指の動きを意識しながら、意欲的に取り組むことができた。 ・ スポーツレクリエーションでは、利用者同士が楽しみながら、身体を動かすことができた。 ・ ナイスハートフェスティバルは、日頃から意欲的に作品作りに取り組み、2名が入賞した。また、共同作品を制作することで交流を深めながら創作活動を進めることができた。 ・ 相談支援においては、病院や相談支援事業所等と連携を行い、生活課題の解決に繋げた。 ・ 契約者数は3名減少。新型コロナウイルス感染症防止のための、学校休業日の利用自粛の影響が特に大きく、1日の平均利用者数は1.2名の減少となった。 ・ 障害の重い利用者や、行動障害を持つ利用者に適切な支援を行うため、居室を分けることに加えて、落ち着かない時にはクールダウンできるスペースを確保するなど、支援環境を整えた。 ・ 申請者数は、ほぼ定着している。人工透析の申請が微増傾向である。
開所日数	294日																			
契約者数	28名																			
実利用者数	23名																			
延利用者数	1,934名																			
1日平均利用者数	6.6名																			
障害児通所給付費収入	18,084,326円																			
利用者負担金収入	973,677円																			
日中一時支援費収入	880,412円																			
受託事業収入（公費）措置分	944,169円																			

実施事業名	実施内容	実績成果等
(3) ニーズに即した児童発達支援事業・保育園事業の展開		
<p>① こども発達支援センター事業</p> <p>② ふれあい保育園事業</p>	<p>○利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開所日数 245 日 ・登録者数 180 名 ・実利用者数 179 名 ・延利用者数 4,171 名 ・1日平均利用者数 17.0 名 ・障害児通所給付費収入 40,490,014 円 ・市受託金収入 12,911,448 円 <p>○発達支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小集団指導 延 2,847 名 (内 肢体不自由児クラス 16 名) ・個別指導 延 1,733 名 <p>○家族支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習・講習 就学説明会、就園おはなし会、 保護者勉強会 (全 7 回) 療育基礎講座 (全 2 回) おしゃべり会 (全 12 回) 延 131 名 ・主な行事 夏のつどい、秋の遠足、ムーブメント教育 中止 ・きょうだい児対応 延 1,125 名 <p>○地域支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規相談 (インテーク) 83 件 ・保幼小への訪問支援 88 件 ・公開療育 中止 ・教委巡回相談への協力 24 回 ・かるがも教室 21 回 療育相談 22 件/12 回 <p>牛久ふれあい保育園</p> <p>○運営実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本園 130 名 (定員 130 名) ・分園 20 名 (定員 20 名) ・開園日数 295 日 <p>○特別保育事業 年間延べ人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育事業 2,478 名 ・一時保育事業 330 名 <p>○運営費収入 本園 121,715,260 円 分園 40,689,350 円</p> <p><主な行事></p> <p>毎月の誕生会、交通安全指導、食育活動、夏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での利用控え等により 1 日の平均利用者は前年度より 2.4 名減であったが、新規相談件数は 18 件増、実利用者数は 4 名増であった。また、小集団指導の利用は減ったが、個別指導の利用は増加した。 ・感染対策および児童の発達状況の多様化に対応するため、個々のニーズに合わせて個別または少人数による支援の提供に努めた。コロナ禍でも療育を受けられて良かったという声を多く頂いた一方で、利用控えが続き、支援が滞ってしまったケースもあった。 ・大人数での行事は中止せざるを得なかったが、保護者向けの企画などは、実施回数を増やし少人数に分けて実施したことで、より丁寧な学習や懇談ができた。 ・保育園や幼稚園で対応に苦慮し、園から促されて相談に繋がるケースが多かった。年度前半は、コロナ禍で訪問支援を自粛したり公開療育を中止し、十分な連携が図れない状況があったが、後半は徐々に訪問等による連携を図れた。 ・コロナ禍で例年通りには、行事ができなかったが、工夫をして園児が楽しめるようにした。また、給食体験や、校長が年長児に授業を行い、就学への期待が高まり、小学校と交流ができた。 ・地域に密着した保育園として、通常保育だけでなく、特別保育事業についても力を入れて実施してきたが、コロナ禍の為、地域子育て支援事業においては、「一人ぼっちのママを作らない」をテーマに、

実施事業名	実施内容	実績成果等
	<p>祭り、運動会、りんご狩り、向台小学校給食体験、クリスマス会、発表会、お別れ遠足、お別れ会、卒園式</p> <p>奥野さくらふれあい保育園</p> <p>○運営実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 80名（定員 90名） ・ 開園日数 295日 <p>○特別保育事業 年間延べ人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 延長保育事業 619名 ・ 一時保育 218名 <p>○運営費収入 102,173,610円</p> <p><主な行事> 毎月の誕生会、こいのぼり集会、プール開き、七夕、ハロウィン、七五三集会、りんご狩り、クリスマス会、豆まき集会、発表会、ひな祭り、発表会、交通安全教室、卒園式</p> <p>上町ふれあい保育園</p> <p>○運営実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本園 128名（定員 130名） ・ 分園 12名（定員 12名） ・ 開園日数 295日 <p>○特別保育事業 年間延べ人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 延長保育事業 2,550名 ・ 一時保育 118名 <p>○運営費収入 本園 124,139,570円 分園 26,621,900円</p> <p><主な行事></p> <p>毎月の誕生会、季節ごとの集会（端午の節句など、お楽しみ会（年長児）、交通安全指導、食育活動、園外保育、牛久小学校授業体験、夏まつり、運動会、発表会、クリスマス会、おわかれ遠足、卒園式</p>	<p>5組限定として行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアの方の協力も活発で、地域の方にも支えられる保育園となっている。 ・ 今年度はコロナ禍にあったため活動がだいぶ制限された。子どもたちの成長期に体験すべきこと、改めて保育の在り方を考えながら保育を進めていった。ホームページや写真掲示などで保育園の様子が保護者に伝わりより一層の連携を持つことができた。 ・ 食育の活動を多く取り入れた。野菜の栽培、収穫、実食等楽しんだ。食育の活動から、食の知識、文字への興味や植物の観察など様々な事に触れあうことができた。 <p>おくの義務教育学校の8年生と地区社協主催のサツマイモの収穫に参加、地域の方々との交流を持つことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍の為、予定していた行事などは分散・縮小など工夫して行った。保護者の協力もあり感染対策を行いながら実施でき、園児も安全に楽しむことができた。改めて行事の見直しや進め方を話し合う機会が増え、職員連携の意識を高めることができた。 ・ 地域の伝統や特徴を生かし、和太鼓活動を行っている。コロナ禍で牛久三中生との合同練習や、夏祭りでの合同演技を行うことはできなかったが、いつか一緒に披露できることを目標に練習することで、例年通り園児の集中力や忍耐力を養うことができた。 ・ 保幼小交流は1回のみの実施であったが、授業体験をすることで就学への期待を高めることができた。また、牛久小学校の校庭で遊

実施事業名	実施内容	実績成果等
		<p>んでいると小学生からの声掛けや、一緒に遊んでもらうなど、自然に交流を持つことができている。</p>

Ⅲ.地域の福祉力を高める。

1. 支えあう心を養う

福祉の心を養い、地域福祉活動への関心を高める環境を整備する

(1) 情報発信による地域福祉活動の活性化

<p>①「こんにちは！社協です」の発行</p> <p>②社協パンフレットの配布</p> <p>③ホームページによる情報発信</p>	<p>○社協広報紙の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/1号、9/1号、1/1号、3/1号の発行（各戸及び関係機関配布） <p>○社協パンフレットの作成及び配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協の主事業をまとめた総合パンフレットの作成及び周知 1,500部 <p>○ホームページの運営及び公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの活用 ・SNSの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・社協会員募集のお願いや主な事業の紹介など、幅広い取り組みを周知した。 ・多くの市民や関係者等に社協パンフレットを配布し、事業の紹介や理解を広められた。 ・ホームページ及びSNSを随時更新し、社協の情報を発信した。
---	---	---

2. 小地域福祉活動の推進

小地域福祉活動の基盤を整備し、住民主体の活動を支援する

(1) 小地域福祉活動の基盤づくりと活動支援

<p>①地域福祉活動のコーディネート</p>	<p>○地区社協活動への主な支援・協働活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛久小学区地区社協：住民交流としてたまり場の提供、サロンとまり木の運営 他 ・二小学区地区社協：地区社協ボランティア移送の実施、サロンむつわの運営 他 ・おくの地区社協：一人暮らし高齢者見守り訪問活動の実施 他 ・神谷小学校区地区社協：新型コロナウイルス感染症拡大防止の実施 他 ・向台小学校区地区社協：地区社協ボランティア移送の実施 他 ・岡田小学校区地区社協：1対1の見守り活動、地区社協ボランティア移送の実施 他 ・中根小学校区地区社協：新型コロナウイルス感染症拡大防止の実施 他 ・ひたち野うしく小学校地区社協：防災組織体制の整備 他 ・新型コロナウイルス感染症に関する対応：自粛及び注意喚起のお願い及び関係資料等の提供 6回 <p>○地区社協会長会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/16、9/11 個別相談 2月 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区社協とも新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、住民同士の交流活動やイベントなどは中止を余儀なくされたが、役員等により新たな生活様式に沿った活動が検討された。 ・介護予防・生活支援サービス事業の通所型サービスや地区社協ボランティア移送サービス事業の運営については、関連資料や情報提供、マニュアル作成などの支援を行い、感染防止対策を徹底して実施することができた。
------------------------	---	---

実施事業名	実施内容	実績成果等
<p>② 地区社協活動支援 助成事業</p>	<p>○地区社協活動支援助成金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の実情に即した地区社協活動の促進を図り、地域住民による地域福祉の増進に寄与 <p>牛久小学区地区社協、二小学区地区社協、おくの地区社協、神谷小学校区地区社協向台小学校区地区社協、岡田小学校区地区社協、中根小学校区地区社協、ひたち野うしく小学校区地区社協</p> <p>8 地区社協×50 万円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 赤い羽根共同募金の配分金を活用し、地区社協活動を支援するための助成事業を行い、各地区社協で地域の実情に合った活動が推進された。
<p>③地区社協支援事業</p>	<p>○地区社協活動支援事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区社協の運営費助成と、地区社協活動を推進するため、地域福祉コーディネーターを設置し、円滑な事業運営を支援 <p>牛久小学区地区社協、二小学区地区社協、おくの地区社協、神谷小学校区地区社協、向台小学校区地区社協 岡田小学校区地区社協、中根小学校区地区社協、ひたち野うしく小学校区地区社協</p> <p>8 地区社協×20 万円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区社協運営費を助成することによって、役員会及び運営委員会など、各地区社協とも円滑な組織運営及び事業が推進された。 ・ コーディネーターを設置し、地区社協と連携し、適切な支援が行えるよう体制の充実を図った。
<p>④ 認知症の人を支える まちづくり事業</p>	<p>○認知症サポーター養成講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7 小学校 682 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校において認知症への理解と支え合いの大切さを伝えた。
<p>⑤生活支援体制整備 事業</p>	<p>○第1層協議体の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域生活支援協議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 5/28 資料配布 ・ 第2回 3/17 18名 ●スキルアップ研修の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 11/25 13名 市役所第3会議室 講演「つながる地域を創る」 ～コロナ禍・生活支援体制整備の進め方～ <p>○第2層協議体の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ●牛久第二小学校区 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 11/18 11名 ●中根小学校区 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 11/13 12名 ●牛久小学校区 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 11/27 11名 ●神谷小学校区 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 11/17 13名 ●ひたち野うしく小学校区 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回 11/26 10名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校において認知症への理解と支え合いの大切さを伝えた。 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域生活支援協議会は第1回とスキルアップ研修、第2層協議体も第1回のみしか実施できなかったが、書面で意見をもらい、コロナ禍における地域福祉活動の状況や各団体等の活動状況等を共有することができた。 ・ 第2層協議体の設置は5地区となり、地域別の課題などもみえてきているが、長引くコロナにも対応しながら、地区に応じた具体的な活動を進めていく。

実施事業名	実施内容	実績成果等
⑥福祉委員会	<p>●5 地区共通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回は、新型コロナウイルス感染症の影響により、資料配布を実施 <p>○福祉委員会</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止し、個別訪問等で内容説明及び資料配布</p> <p>5月19日(火)～6月5日(金)福祉委員宅訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協会員の募集依頼について ・歳末たすけあい在宅援護対象者の把握等について <p>○社協会費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般会費 16,364世帯 7,930,000円 ・特別会費 65世帯 67,000円 <p>9月14日(月)～9月18日(金)福祉委員宅訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根及び歳末たすけあい募金協力依頼について 	<ul style="list-style-type: none"> ・社協会費について、個別訪問等での説明を行ったことで、前年比202世帯、112,650円の増となった。
(2) 人や地域がつながる活動の支援		
<p>①地域福祉活動助成事業</p> <p>②地区社協ボランティア移送サービス事業</p> <p>③ふれあいサロン活動の推進</p>	<p>○助成金交付審査会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/17、委員6名出席 <p>○申請団体11団体</p> <p>○助成決定団体11団体・20事業</p> <p>○助成額 502,000円</p> <p>○生きがいサポート協働事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二小学区地区社協 火・金曜日に外出サポート 利用者数：延べ131名 ・岡田小学校区地区社協 火・水・金曜日に外出サポート 利用者数：延べ111名 ・向台小学校区地区社協（11月から開始） 月・木・金曜日に外出サポート 利用者数：延べ30名 <p>○ふれあいサロン設置状況 計68か所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域サロン 60か所、回数1,375回、延べ12,904人 ・子育てサロン 8か所、回数16回、延べ252人 <p>○ふれあいサロン研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、フレイル予防等の参考資料を送付 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金の配分金を活用し、障がい者支援や子育て支援など、地域福祉の向上につながるボランティア・市民活動の一助となった。 ・二小学区地区社協及び岡田小学校区地区社協が通院等の外出サポートを行い、その活動を支援した。向台小学校区地区社協においても、11月からスタートした。新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底して実施した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言中は活動自粛をお願いした。市健康づくり推進課と連携し、ふれあいサロン再開に向けた注意事項を作成配布し、安全な活動を呼びかけた。

実施事業名	実施内容	実績成果等
(3) 住民参加による相互扶助活動の充実		
①有償在宅福祉サービス事業 ②ファミリーサポートセンター事業 ③重度身体障害者移送サービス事業 ④高齢者移送サービスモデル事業	○ふれあいサービス 高齢者世帯及び障害者世帯への掃除や食事づくり等の家事援助 ・協力会員登録者 110名（実動21名） ・利用会員登録者 144世帯（実利用24世帯） ・延べ利用回数 436回 ・延べ利用時間 435時間 ○ファミリーサポート 家族が子どもの面倒を見られない時の保育や送迎及び産前産後の家事援助 ・協力会員登録者 160名（実動24名） ・利用会員登録者 677世帯（実利用28世帯） ・延べ利用回数 394回 ・延べ利用時間 355.5時間 ○重度身体障害者移送サービス 車イスの方等一人での歩行が困難な方が通院・社会参加等の際の移送支援 ・協力会員登録者 16名（実動15名） ・利用会員登録者 68名（実利用16名） ・延べ利用回数 384回 ・延べ利用時間 198時間 ○高齢者移送サービス 加齢等により公共交通機関の利用が困難な高齢者に対して外出の利便を図るための移送支援 ・協力会員登録者 70名（実動18名） ・利用会員登録者 316名（実利用73名） ・延べ利用回数 1,010回	・新型コロナウイルス感染症の影響により、5月は活動を一時休止した。6月の再開時は時間を短縮し、活動中の感染防止対策を図った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、保育補助の増加など活動内容に変化があった。また、親の在宅ワーク等により、送迎依頼は大幅に減少した。 ・多子や双子のいる世帯の保育補助の依頼が目立った。 ・通院及び当事者団体の定例会議等への移送が主である。社会参加は増加しているが、通院については減少傾向である。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、受診方法の変更や頻度の減少により、利用回数は減少した。本事業は、令和2年度をもって終了となる。

3. ボランティア・市民活動の活性化

活動支援体制を強化し、常に新たなニーズに対応できる、市民に役立つボランティア・市民活動センターの充実を図る

(1) 個々の活動支援と団体相互の連携強化

①育成支援活動	○各種講座の開催 ・はじめてボランティアオンライン講座 8・10・12・2月の第4木曜日～1週間 Youtubeで公開 延べ11名 ・NPO入門講座 10/14 8名 ・親子ふれあい体験 3/21 7家族20名 ・災害ボランティアセンター運営訓練 9/17 59名 ○福祉教育推進事業の強化及び福祉教育の	・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、オンラインによる講座に変更した。個別相談も行い、コロナ禍でのボランティア活動につなげた。 ・災害ボランティアセンター運営訓練では、市社会福祉課と市防災課職員の参加も得て、新型コロナ
---------	--	---

実施事業名	実施内容	実績成果等
②ネットワーク活動	<p>活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉体験教室 車イス体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験 小学校3校 延べ332名 <p>○ボランティア団体等登録状況</p> <p>登録団体数 234団体(4,871名)、個人 433名、計5,304名</p> <p>○ボランティア・市民活動団体等との連携・協働活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆめまちネット牛久市ボランティア・市民活動ネットワークの事務局と協働連携 ・ボランティアリーダー研修会 175団体 参考資料送付 <p>○施設等ボランティア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11/24 施設等のボランティア担当者研修会 11施設14名 講演 	<p>ウイルス感染症防止対策を講じて訓練を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録団体のメンバーの高齢化による解散や活動中止が増加している。 ・リーダー研修会は実施せず、コロナ対策など現在の活動の参考になる資料の送付を行った。 ・コロナ禍におけるボランティアコーディネーションと題して、ボランティアとの関係性を保持していくための講演を行った。

(2) 新たなニーズにも対応できる機能の整備と充実

<p>①相談・あっせん活動</p> <p>②センター機能充実</p>	<p>○センター設備及び相談窓口の整備</p> <p>○活動に関する需給調整</p> <p>ボランティア相談件数 247件 紹介件数 27件</p> <p>○運営委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/10、2/17、研修 10/27 <p>○ボラセンニュース(市内回覧)発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/1、7/1、9/1、11/1、2/1 <p>○ホームページの運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設のボランティア受け入れの縮小やイベント中止などを受けて、紹介件数が減少した。 ・多くの方に当センターを利用いただき、ボランティア活動に参加してもらうよう、ホームページやSNSを活用した広報活動も行った。
------------------------------------	--	---

IV.役に立つ組織に再構築する。

1. 職員教育の徹底

職員研修の充実を図り、住民の視点に立った地域福祉の推進役となる専門性を持った職員を育成する

(1) 計画的な職員の育成

①計画的な職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・各種専門研修への参加 ・内部研修の実施 ・計画的な職員採用 <p>法人説明会 3/25,4/13,5/25,6/11,/24,10/22,11/5,/19,1/26,の9回開催(27名参加)</p> <p>採用試験 7/18,12/5,2/14の3回実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・求人広告サトを利用したの職員募集や採用試験受験予定者を対象とした法人説明会を9回開催し社協事業PRを行った。また新卒学生、既卒者向けの職員採用試験を年3回実施し、令和2年4月採用となる8名の専任職員を採用した。
------------	--	--

2. 安定した財源の確保

コスト意識を徹底し、効果的で効率的な自律した経営に努める

(1) 積極的な財源の確保

実施事業名	実施内容	実績成果等
①自主事業の効率的運営及び拡充 ②会費の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業、障害者支援事業、牛久ふれあい保育園、奥野さくらふれあい保育園、上町ふれあい保育園の拠点区分ごとに自主事業を運営 ・市内法人を訪問し、社協法人会員への協力を依頼 287社 (2,863,000円)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の参加意欲を促すような内容を取り入れた事業展開を図るとともに、常にコストを意識した事業運営に努めている。 ・前年度対比、34社(340,000円)の減となった。

3. 計画の進行管理

この計画の進捗状況を確認し、進行を管理する。

(1) 理事会による進行管理

①理事会による進行管理	<ul style="list-style-type: none"> ●理事会 ○第1回 5月25日(月) 書面決議 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度一般会計補正予算(第1号)専決処分の報告 ・令和元年度事業報告 ・令和元年度一般会計収入支出決算監査報告 ・令和2年度一般会計補正予算(第2号)専決処分の報告 ・職員給与規程の改正 ・副会長の選任 ・評議員候補者の提案 ・第1回評議員会の書面による決議 ・評議員選任解任委員の選任 ○第2回 12月4日(金) 書面決議 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度一般会計補正予算(第3号,第4号,第5号,第6号)専決処分の報告 ・表彰規程の改正 ・保育園管理規程の改正 ・評議員候補者の提案 ○第3回 3月18日(木) <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度一般会計補正予算(第7号,第8号)専決処分の報告 ・令和3年度事業計画 ・令和3年度一般会計収入支出予算 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面による決議とした。 ・評議員構成団体の役員等の変更に伴い、評議員候補者として9名を評議員選任解任委員会に提案した。 ・副会長として内藤雪枝理事を選任した。 ・評議員選任解任委員として、中島和枝監事、外部委員として根岸幹和氏を選任した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面による決議とした。 ・表彰等候補者の推薦者に地区社会福祉協議会会長を追加した。 ・評議員構成団体の役員等の変更に伴い、評議員候補者として3名を評議員選任解任委員会に提案した。 ・理事会終了後、牛久市社会福祉大会の表彰審査会を開催し、表彰の部42組、感謝の部74組の授賞を決定した。 ・定款第2条及び事務局規程第5条に、認知症初期集中支援事業、認知症ケア向上推進事業を追加した。 ・パートタイム職員及び臨時職員
-------------	--	---

実施事業名	実施内容	実績成果等
	<ul style="list-style-type: none"> ・定款の改正 ・事務局規程の改正 ・地域包括支援センター運営規程の改正 ・パートタイム職員就業規程の改正 ・臨時職員就業規程の改正 ・役員等賠償責任保険契約の締結 ・第2回評議員会の書面による決議 ●評議員会 ○第1回 6月26日(金)書面決議 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度一般会計補正予算(第1号)専決処分の報告 ・令和元年度事業報告 ・令和元年度一般会計収入支出決算監査報告 ・令和2年度一般会計補正予算(第2号)専決処分の報告 ○第2回 3月26日(金)書面決議 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度一般会計補正予算(第7号,第8号)専決処分の報告 ・令和3年度事業計画 ・令和3年度一般会計収入支出予算 ・定款の改正 ●評議員選任解任委員会 ○第1回 5月27日(水) <ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任 ○第2回 12月8日(火)書面決議 <ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任 	<p>の所定時間外労働手当、休日労働手当の計算方法を具体化した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会社法の一部を改正する法律の施行に伴い、役員等賠償責任保険の契約先、補償内容等を決定した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面による決議とした。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面による決議とした。 ・定款第2条に、認知症初期集中支援事業、認知症ケア向上推進事業を追加した。 ・評議員構成団体の役員等に変更があり団体からの推薦書に基づく理事会の提案により、9名の評議員の選任を行った。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面による決議とし、評議員構成団体の役員等に変更があり団体からの推薦書に基づく理事会の提案により、3名の評議員を選任した。

4. 適切な法人運営、事務局運営

地域住民とともに住みよいまちづくり実現を目指すための組織、運営体制の整備に努める

(1) 事務局運営体制の整備

<p>① 効率的な事務局運営</p>	<p>○一般寄付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現金 34件 2,063,792円 ・物品 51件 手作り布マスク・米・タオル等 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ということもあり、多くの手作りの布マスクやフェイスシールド等を寄付いただき活用させていただいた。
--------------------	--	---

(2) 情報発信機能の充実

<p>① 効果的なパブリシティの促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社協活動や福祉活動の情報を、社協広報紙(年4回)、パンフレットの配布(年1回)、地域か 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSによる情報提供により、市民の皆様に最新の情報提供が行え
------------------------	--	---

実施事業名	実施内容	実績成果等
	わら版（毎月）、ホームページ運営、SNS活用（随時更新）、FM うしくうれしく放送により市民の方々へ情報提供	ている。 ・FM うしくうれしく放送で「社会福祉協議会だより」のコーナー（毎週 1 回）を設け、社協職員による事業紹介を行っている。